

< 2003 年秋季シリーズ >

すまい・まちづくりフォーラム関西 2 1

# 日本の住宅・長寿化への設計図

住み続け、住み継ぎ、すまい文化を育てる／消耗品から居住資産へ

■第10回 9月13日(土)

フローからストック時代へのハウジング

長谷川洋 (国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官)

■第11回 10月11日(土)

長期耐用を目指す住宅・住宅地の開発

前田雅信 (積水ハウス設計部大阪計画設計室部長)

■第12回 11月8日(土) この回は4時30分終了

いつまでも愛され住み継がれる住まい

①愛着がもたれる住宅デザイン

竹山清明 (京都府立大学助教授)

②住んで価値のする住宅ストックとその流通—日米比較

村山隆英 (日本生命保険(相)不動産部課長)

時 間 午後1時30分～4時00分

会 場 梅田スカイビル ウエスト22階

交 通 JR大阪駅中央北口から徒歩9分

参加費 1000円(資料代含)、会員800円

学生500円、3回分通し券2000円

申 込 FAX 0774-73-5701 またはメールで

お知らせください。

(当日受付もあります。先着100名)

\*詳細はHPをご覧ください。

<http://www.n-bunko.org/>

<ごあんない>

アジアでは、住宅は世代ごとに建て替えることを良しとして、軽い造りを好む傾向がみられました。

しかし、現在日本のハウジングは大量の資源と資金を用いて建設され、より長期にわたって使用される長期耐用財へと移行しつつあります。ところが、その開発実態をみると、生活変化への対応性、愛着もてるデザイン、適切なメンテナンスやリフォームサービス、資産評価と流通性などにおいて旧態依然とした状態にあります。

今回のフォーラムでは、いつまでも住んで楽しく、住み継がれる住宅のあり方＝日本と海外における住宅長寿化の条件を、理論と実践両面におけるエキスパートたちとともに展望します。成熟社会の住環境づくりや地球環境問題への寄与にもつながるテーマです。

学生や市民の方々にもぜひおすすめいただき一緒にご参加ください。

コーディネーター **三村浩史**  
(文庫副理事長)

## も く じ

フォーラム/持続可能な社会のくらしとすまい	林 昭男	2
フォーラム/カーフリーハウジング	松本 滋	6
トピックス/高速道路を撤去し清溪川を復元する	角橋徹也	10
<西山先生と私>		
恩師の思想を地域の行政に生かすのが私のライフワーク	牛見 章	14
不肖の弟子のつぶやき	白砂剛二	16
<会員だより>		
豪州の戸建住宅の長期使用を支えるシステム	中野迪代	19
学芸員修行中	飯田直樹	19

